

デイケア通信

三月号



男雛、女雛の左右は??

男雛、女雛の左右は、どちらが本当でしょうか? ひな人形の飾り方は地方によって様々ですが、飾り方に決まりはないようです。

江戸時代までの日本の礼法では、「左上座」が正式でした。ところが、昭和天皇の即位の礼で、天皇が皇后の右側に、お立ちになったことから、おひな様もその影響を受けて、右(向かって左)に男雛、左(向かって右)に女雛を飾るように変わったようです。しかし、昔の風習を大事にする地方では、現在でも、左上座で飾っているところも「ございます。ですからどちらでも間違いではないといえます。」



3月主な予定

- 3日(水) お楽しみ献立
- 8日(月)
- ~12日(金) 体重測定
- 9日(火) ご当地グルメ
- 15日(月) レクリー
- ~19日(金) ション週間
- 15日(月) セレクト食
- 25日(月) 麵食いめぐり

3月25日

屋食に提供!



写真はあくまでイメージです。

麵食いめぐり(天ぷらそば)

「臨時利用」・「振替利用」 随時 受付中!

「臨時利用」・「振替利用」 随時 受付中!
 デイケアご利用時にお休みした場合、他の曜日に振替利用ができます。また、ご家族様のご都合で、どうしても利用したい時など、臨時利用もできます。詳しくは遠慮なくご相談ください。

天ぷらそばの出会い

おそば屋さんの定番メニューのひとつ「天ぷらそば」。そんな「天ぷらそば」は、どのようにして一般的に普及していったのかご紹介いたします。天ぷらの歴史は様々な諸説があるようですが、一四三三年頃、種子島にポルトガル人が来てから伝えられたのが始まりのようです。

天ぷらの語源にも諸説ありますが中でも多いのが、ポルトガル語の「テンペーロ」調理する。スペイン語の「テンプロ」お寺を意味する。中国から伝わった「天麩羅(あぶら)」を読み違えた。いろいろな説があるようです。

庶民が天ぷらを食べるようになったのは、江戸時代前期の頃からです。その頃は、屋台の「天ぷら屋」が江戸前の穴子、芝海老、こはだ、貝類などを串に刺して天ぷらにして出していたようです。天ぷら屋と同じ時期、蕎麦屋も屋台で「風鈴そば」と言って、屋台の蕎麦屋が来ると風鈴を鳴らしていたようです。たまたま屋台の天ぷら屋さんの隣に風鈴そば屋が来て、屋台でかけそばを買ったお客が、隣の天ぷら屋から天ぷらを一つ買ってそばにのせたところ、そのあまりの美味しさに噂が広がり、食べるようになったようです。